

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 5月号 (NO25)

2012年5月10日 (木) 発行

【農暦】気候もへん、つまづきが続く

○春の嵐が過ぎたら竜巻である。雨もシトシトは降らないで激しい。気温も急に上りまた下がる。雷は日本海側では冬にあるのは知っていたが、関東では夏のものであった。最近はいつでも、季節を選ばない。旧暦の季節暦を好んで大事にしたいと思っていたが気候が段々合わなくなって来ているように思える。笠間と柏を行き来きしていると^{ほんろう}翻弄される。今年の春は特に大変である。失敗いしたり、チグハグな作業になる。結果は、場当たり作業の連続である。落ち着いた気分にはなれない。以下は、ここ半月の痛ましい？顛末と繰りごとである。馬鹿をやっていると笑われてしまうが、...

○つまづき始めると続いてしまうものである。春の嵐で大破したビニールハウスもグリーンジムの皆さんの協力で修復され、これから頑張るぞと思っていた時(22日)に痛風を発症してしまった。また、そのタイミングも悪かった。寒く雨降りが続いていたのでハウスを閉め切っていた。晴れ予報の24日には笠間へ行く予定にしていたからである。その日、我慢しきれなく病院に行った。左足は痛んでも車に乗れたので夕方には笠間に入った。だが、ハウスの中は日中に相当の高温になったと思われ、微かに期待したトマトなどの苗とヤーコンの芽まで焼いてしまった。問題が起るのはこんな時である。悪い事は続くものだと落ち込んでしまう。

○生き物を扱っているのだぞ、たまたまではないぞ、何を考えているのだと言われそうである。

今の笠間・柏の二重生活のスタイルはいろいろ経緯や思いがあつての事である。実行能力などを考えると簡単に頑張りますも反省も出来ない。言いようのない気分になる。実行能力の値踏みは何度かしている。未だ“やる気“の方が勝っているようだ。苦しみを味付けにして楽しいものにするのも悪くはないと考えもする。

○こんな気分で、痛風の痛みが小さい事を幸いに、新たにヤーコン苗作り(駄目にしたので)など出来るだけの事をして柏へ帰る。4日間治癒休養し笠間へ行くと、玄関周りが空家を思わせる程に草が茂って来ていた。2日間続けて草取りなどを頑張ったら治っていな



<柏のあけぼの公園のチューリップ>

この先には市民農園がある。痛みがとれたので痛風の足で、余り歩かず。26日撮影

い痛風の足が腫れてきた。連休は農作業を休むと決めていたが、目の前に作業が見えてい
ては、気が^き急いでならない。草の勢いを感じ、治癒を待ってられないで、草刈りを始め
る。そして、耕起、マルチ、ヤーコン苗の仕込みトマトの植込みなど休みを入れながらも
続けてしまう。それでも、やらねばならない作業がいっぱい残っている。作業した後は少
しだけ、いい気分になれるのだが、疲れると足の腫れが厳しくなる。今も腫れている足
を見ていると自分が滑稽に感じる。漫画のセリフではないが“これでいいのだ”と云う自分
もいる。何か可笑しくなる。

【楽農】仕込んだ苗は全滅のため新規苗作りなど

<ハウス> ; ハウスのシート張替、

仕込んだ苗は全滅のため新規トマト苗の鉢上げ、ヤーコンも新規に鉢上げ、
購入トマト苗で定植。周辺の草刈り。

<畑 A> ; 周辺の草刈り、アイスペラント、レタス、キャベツの植込み

<畑 B> ; 芋（大野芋、八つ頭、バカ芋）の定植、トラクター起耕、イタリアントマト用
のマルチ掛け 畔の草刈り、ジャガイモの土寄せ、

【楽市】イベント交流・直売など

○詩吟の会で花見会と昇段試験（4月15日）

・昇段試験（奥伝）を受験した。結果は未だ。試験後に移行した花見の会に参加する。

○グリーンジム本戸倶楽部（4月18-19日）

・里芋の定植、トラクター起耕、イタリアントマト用のマルチ掛けなどの作業をする。翌
日朝にはハウスのシートを張替した。

*懇親会は、農業の話からとりとめのない日常の話へ
と笑いこけながら続いた。翌日の5時半開始予定の
ハウスのシート張替が1時間遅れになる程に飲み
過ぎ？てしまった。

○エコピア柏の生ゴミ堆肥化講座（4月21日）

恒例の春の講座を柏リボン館で行う。男性の参加
が増る傾向が続いている。今回は男性が女性の出席
者より多かった。知っている限りでは初めての事
である。定年退職者が増えた事によるものか、よい傾
向である。



<柏リボン館の生ゴミ堆肥化講座>
質問も多く熱心に聞かれていた。定年世
代の男性参加者が多い。21日。

【つばやき=Tweet】連休は想定しなかった^{あわただ}慌しいものに

○水戸の内原での映画鑑賞や近くのいろいろな草花がある「花ぞの」（固有名詞）に行くな
どと、連休は痛風が治癒していない事もあり、また、雨降りも重なり、比較的のんびりと

孫娘に極力合わせるようにして笠間で過ごす積りでいた。勿論、農作業は休みと考えていた。笠間に向かった3日は、大型連休と雨の天候などの条件が重なってか、久しく体験しないで済んだ渋滞に巻き込まれた。筑波学園のイアース（ショッピングモール）は周りも駐車場も1時間程立ち往生で昼食も大混雑で散々であった。柏への帰りの6日には、いつものコースの筑波学園・北条地区が竜巻の直後で、家の屋根が飛ばされた残骸などの片付け作業のための渋滞に遭遇した。イアースは来た時と同じで周辺から渋滞で入るのを諦めた。現役時には、よく味わされた渋滞が思い出された。農作業も空き時間が出来ると気になり始めてしまった。連休は想定しなかった^{あわただ}慌しいものになってしまった。

○渋滞通過直後に、筑波のMさんから携帯メールで竜巻であったと知った。あの時、不気味な黒々した入道雲が高く張り出しているのを見た。テレビのニュースで、すごい竜巻であった事が判った。もし30分早く通っていたらと思うと怖くなる。30分差で言えば、サリン事件の時に日比谷に地下鉄で通っていたのでチョトの時間差で遭遇しないで済んだことが思い出される。“またと明日は来ない”と云うが“たまたま”は来る可能性がある。



<満開の桜の下を散歩する陸カメ>柏の大堀川沿いを散歩時に陸カメに遭遇する。この頃はビニールハウスの大破もあったが順調にイベントなど進展していた。12日撮影

○農作業との関連で気候の事が気になるが異常気象が多い。温度変化も激しいし雨も風も益々激しくなっている。竜巻はアメリカで起こるもので日本では無いと思っていたが、最近では起こっている。春の嵐も台風も益々激しくなっている。これは、北極圏から張り出す寒気団や海水温上昇など

によると聞くと、“地球温暖化”の事が気になる。今の世相を考えると、これ以上、危機感を煽りたくはないが、怖い“最大の人災”にならぬように思うばかりである。騒ぎ立てるだけでない賢明な選択こそが、今問われていると思う。

○痛風で動けない事もあり「幸福について」に続いて関心のあった五木寛之の「親鸞上下」を読み終わった。本も面白い。農への熱い？思いだけでない話題を共有出来たら思っている。“繰りごと気分の私”が、また繰りごとの内容にしてしまった。

***新緑の山々は素晴らしい。田圃の早苗が広がる。緑が最高。また、いい汗をかきたい。笠間に、kogure農場にお越し下さい。**

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao_k@nifty.ne.jp

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>